

.....
紹 介

コンクリート作業必携

工 學 士 野 澤 房 敬 著

混凝土の合理的施工は地震國の日本が世界に範を示さねばならぬ筈です、工事書報社工事研究會も其意味で眞劍な努力をしてをります鐵道省でも内務省でも此點は大に認められ土木建築の混凝土工事は今や至る處に合理工法を實行されつつあります、野澤工學士の此の著は此際に最も當を得たもので、一般工事關係者に良い参考書を與へられました、内容はウオターセメントセオリーを詳説して、實行上の手引を與へ歐米最新の工事に關するセメント其他の實例を紹介せられたものです。(菊判クロス定價3圓東京日本橋大倉書店發行)

土 本 工 事 用 砂 利
 建 築

理 學 士 江 畑 弘 毅 著

工業雜誌社發行定價4圓80錢菊判416頁クロスと云ふ體裁である。

内容は砂利の生成から分布、品質と機械的分析、第二編に於ては砂利の採集方法を人力、機械力、採收費とに分説し、第三編運搬では小運搬積込作業輸送、積卸作業を分説し、第四編の用途では混凝土用砂利、道路用砂利、線路用砂利を各説明し、附録として東京府其他の砂利採取規定と砂利に關する各種の工事仕様書を集めてある。

一口に云ふと砂利の百科全書である、砂利に關する事なら何でも調べてある、圖解の多面方なる事も此書の完全を證明する。現代の文化的なる工事は總て混凝土で占めてをるが、其混凝土の材料とする丈けでも砂利の知識は是非必要な事である、從來から砂利に深い關係ある工事生活をしてをつた我々に對し、今江畑氏が此丈け纏つたものを發表して下さつた事は單に我々一人のみではない、斯界の爲めに實に感謝に耐へない。

砂利を營業とするものも、一般工業關係者が材料のプランを立てるにも最も良い参考書である。

ポケットデーリー 年末になつて各技術者がそれぞれ小型日記帳を要求する中に、各専門に種々な型式のものが新出するが、ポケットブックを兼ねたデーリーとしては最も實用的な型式内容を備へてをるものは鐵道時報局の鐵道及び土木日記である、上

製一部金 1.20 圓書留送料14錢である、發行所は神田區鍋町アーチ下鐵道時報局。

靜力學的不定構造物の應力計算

工 學 士 木 村 又 左 衛 門 著

復雜難解とせらるる靜力學的構造的應力計算を最小働作の原理により一貫せる解法を示したものでラーメンの應力計算の鍵とも云ふべきものである。一部金 3,80 圓で目下豫約募集中である申込所は(兵庫縣西宮市本町一〇一太陽堂書房)

.....
編 輯 便 り

○コンクリート合理的施工法を全國的に強調する爲めに Concrete Card 5萬枚頒布の事業は意想外に多忙を極めました。

○恐らく全國の工事關係者全部に行渡つた事と思ひます、然し民間業者と學生方面は行渡つて居りません。Card 増刷次第此方面へも頒布します。

○各地でコンクリートの工事研究會を催されん事を希望します。

○新年號は大家や先輩の工事美談號であります。

土木建築	工事書報 第三卷 第十二號
定價七十錢(稅二錢)	
毎月一回一日發行 一ヶ年十二冊發行	
購 讀 料	
壹 部	七 十 錢 稅 二 錢
參 ヶ 月	貳 圓 稅 共
六 ヶ 月	四 圓 同
一 年	八 圓 同
(外國ハ一部稅共七十八錢)	
注 文	注文は總て前金、送金は必ず振替貯金にて振替東京七〇貳六五番宛拂込の事、但し六ヶ月以上の申込は御希望により集金郵便による但集金拂込料とも御負擔の事
昭和二年十一月廿六日印刷納本 昭和二年十二月一日發行	
編輯兼 發行人	岡 崎 保 吉 東京府北豐島郡西巢鴨町池袋九七三
印刷人	鷺 見 知 枝 麿 東京市京橋區木挽町一ノ四
印刷所	鷺 見 文 友 堂 東京市京橋區木挽町一ノ四
發行所	工 事 書 報 社 東京市麴町區有樂町一丁目一番地 (丸ノ内仲通り四號館七號) 電話丸ノ内二六三三番 振替東京七〇貳六五番
大賣捌所 東京堂・東海堂・大東館・北隆館	